



障害者福祉充実のため、
生製品の販売コーナーの設置と有益な公的調達を求める請願

紹介議員

玉虫志保 

平成29年5月23日

大磯町町議会議長殿

請願人 大磯町福祉作業所等連絡会 代表  添田正直

住所：大磯町生沢491 ソーシャルファーム大磯

TEL：0463-72-5329 (Cell 090-6560-1193)

障害者福祉充実のため、
生産品の販売コーナーの設置と有益な公的調達を求める請願

大磯町福祉作業所等連絡会

(NPO) グラウンドカラース 曾根隆

(NPO) 湘南いこいの里 佐藤強

(NPO) ソーシャルファーム大磯

(社福) おおいそ福祉会 末村光

(社福) 素心会 萩原勝

1 請願の要旨

私たちは、福祉作業所等でパン・ジャム・野菜などの食品、和紙・木工品などの日用品、織物・アクセサリ・ワラ製品などの装飾品等さまざまな製品を生産しています。そして、障害者は、それを販売して得られた利益から工賃として分配を受けることで、社会と繋がっていますが、工賃（給料）は、最低賃金に遠く及ばず、とてつもなく低い額です。

これを改善するために大磯町として、本庁舎1階での販売コーナーの開設、生産品の調達の拡大、新規役務の開発などの障害者福祉の充実を促す施策の展開をお願いいたします。

2 請願の理由

県下のほとんどの市町村で本庁舎もしくは隣接の施設で、障害者のショップを設置し、障害者が働く場、社会と接する場を作るとともに、販売の協力を努めています。

二宮町はショップでの売り上げは軽食の提供も含め約700万円、平塚市は障害福祉課が主導して常設に近い形態の販売コーナーを設け、弁当の売り上げも含め約1600万円の販売実績を計上しています。

物品の調達では、平塚市は学校給食のパンで、小規模設備のデメリットを克服するため、特徴のある地産地消のパンを教室単位で日を変えて順に給するなど工夫し、思いやりのある発注を推進しています。

労務（清掃等）の調達では、物品の調達と同様に、分離・分割発注や発注仕様の見直しなど障害者の特性に配慮工夫し、調達を推進しています。

以上の理由により、下記を請願いたします。

1. 本庁舎1階に、障害者の生産品の販売コーナーを設置し、費用対効果の見込める4時間程度、販売させてください。
2. 障害者優先調達法にのっとり、福祉作業所にとって有益な調達を、発注方法を配慮工夫するなどして、推進してください。